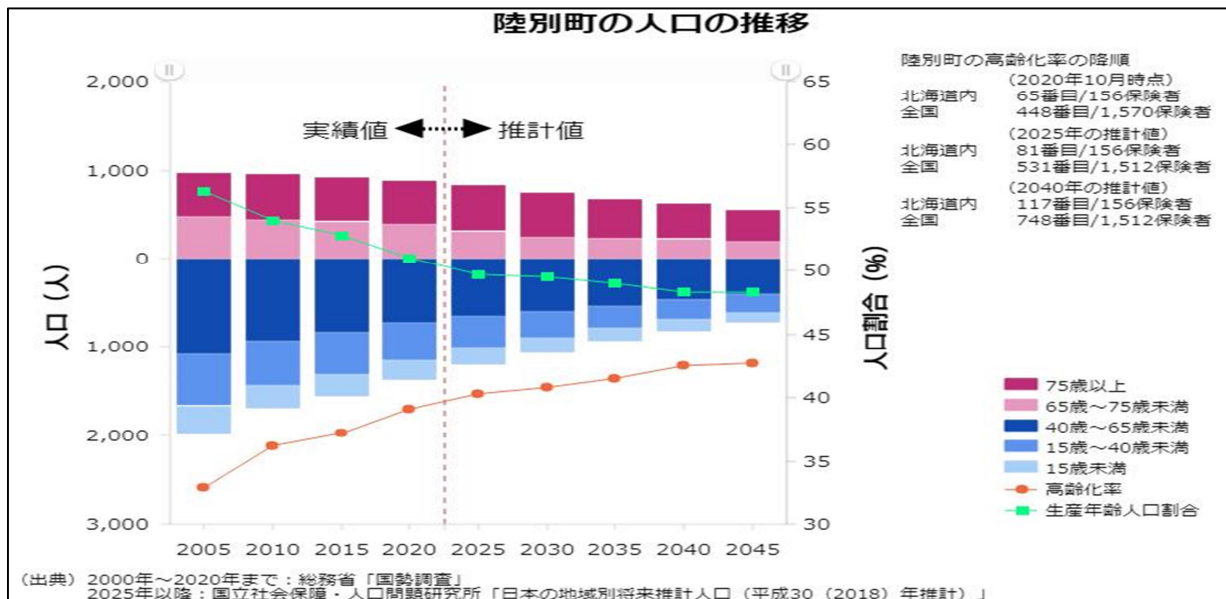


地域包括ケア「見える化」システムを 活用した陸別町介護保険事業の地域分析

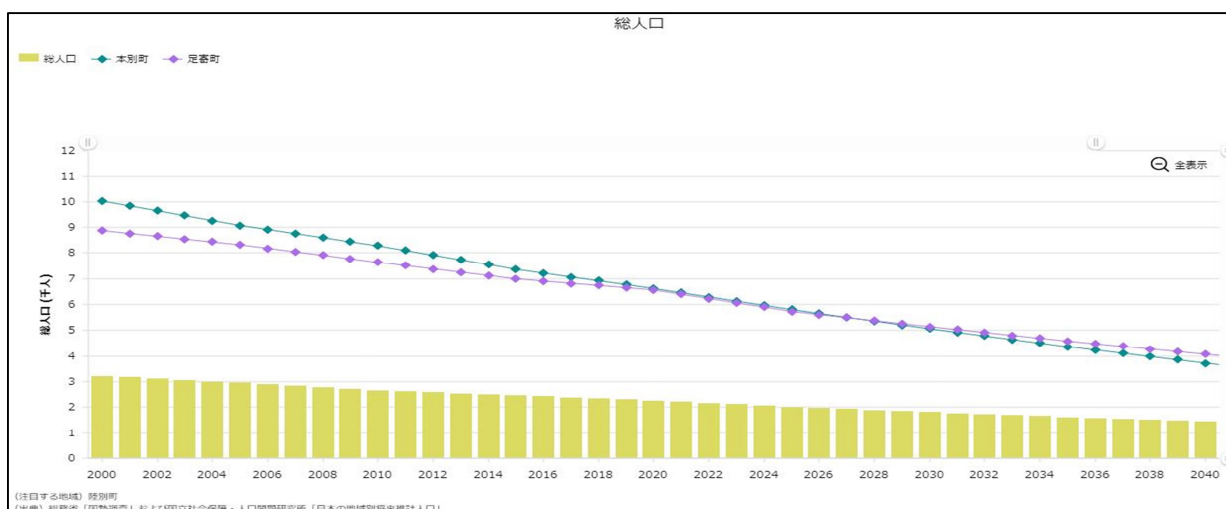
地域包括ケア「見える化」システムは、厚生労働省が運営する、都道府県・区市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。陸別町では、これらの統計を用いて、介護保険事業を実施しています。

1. 陸別町の人口の推移



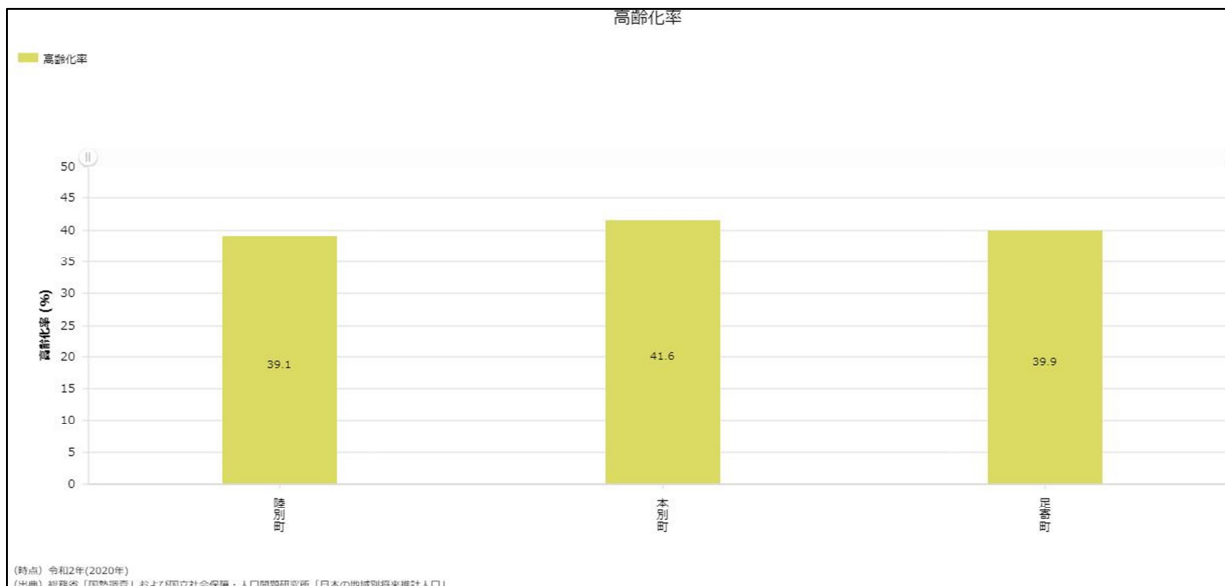
人口減少とともに高齢化率の増加が見られる。2025年・2040年と、人口減少を進んでいる。

2. 総人口



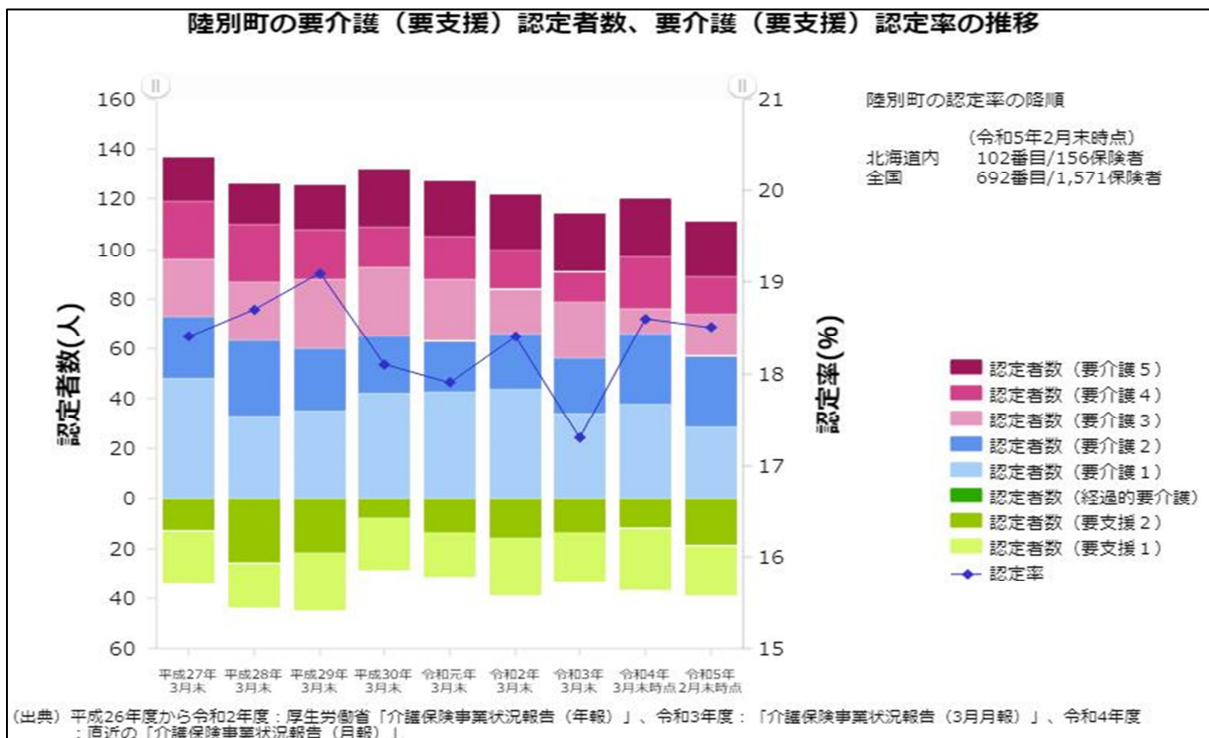
2000年から減少し続けており、2023年4月現在の総人口は2,199人。十勝東北部ほか2町と比較してみると当町が圧倒的に人口が少ないことが見られる。2026年の推定値は1,983人と2,000人を切ってしまう、2040年の推定値では1,439人と1,500人を切っている。

5.高齡化率



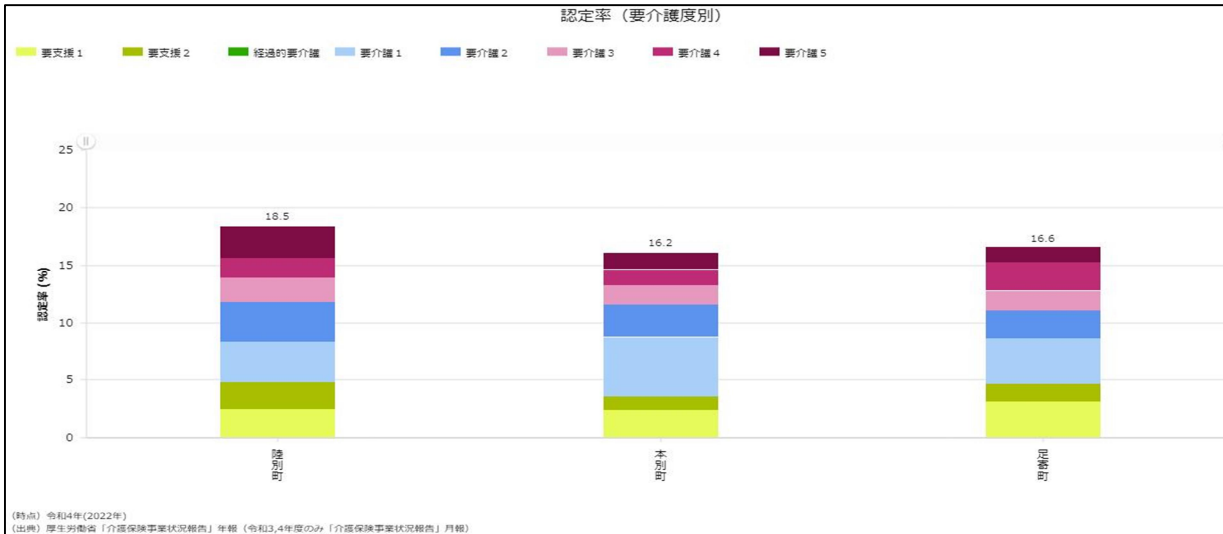
日本全国の高齢化率は28.4%（令和元年度時点）。令和2年度時点で当町の高齢化率は39.1%のため、日本の平均よりも高い。

6.陸別町の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



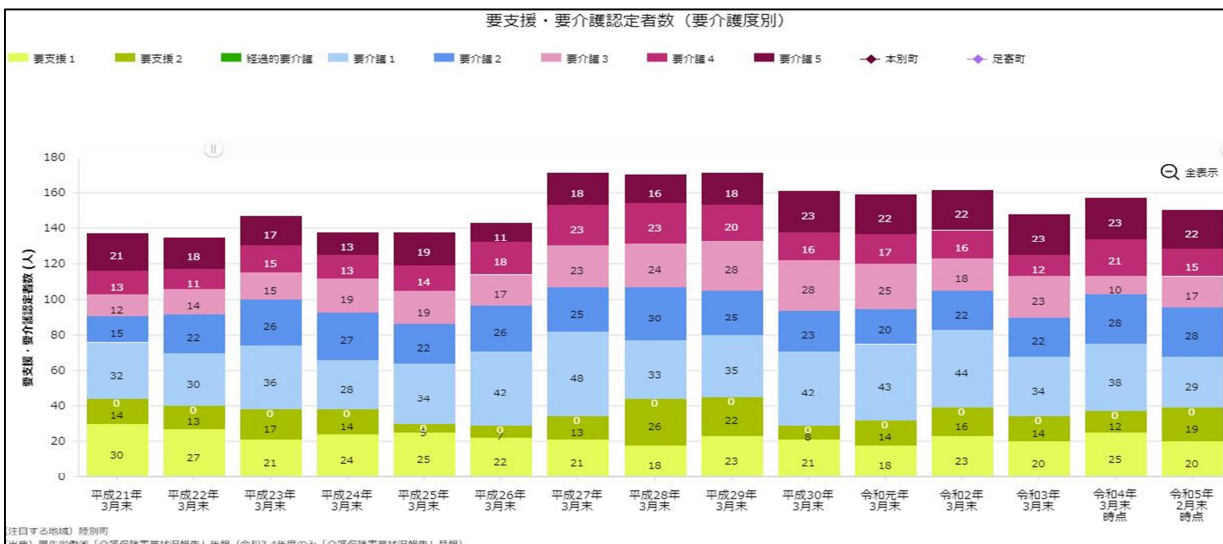
認定率とは、介護保険の第1号被保険者（65歳以上の人）のうち要支援や要介護の認定を受けた人の割合のことを指し、当町では各年によって変動がある。介護度別に認定者数を比較したときに、毎年要介護1が多くなっている。

7.認定率（要介護度別）



十勝東北部ほか2町との比較。当町もほか2町と比較したとき、認定率のみを見ると低くはない。要介護（要支援）の認定率の上昇が介護サービス費用の増加の要因となることが考えられるため、介護認定を保有している方がどのような介護サービスを受給しているか必要性を確認していくことが大事。

8.要支援・要介護認定者数（要介護度別）



「6.陸別町の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移」の認定者数の詳細。令和5年の要支援・要介護認定者数は150人で、ここ数年160人以下を推移している。人口減少に伴い認定者数も減少している、というわけではない。

9.一般世帯数



年々減少傾向にあり、近年 1,000 世帯を下回ることが予測される。

10.高齢者夫婦世帯数



一般世帯数の減少に伴い、高齢者世帯数も減少し続けている。足寄町は特に値に変化は見られないが、本別町は増加傾向にあり、当町も経過を追う必要がある。

11.高齢者独居世帯数



高齢者夫婦世帯数は変化がわかりにくかったが、独居世帯数の場合は明らかに増加している、足寄町・本別町も同様。